

町では、今後のまちづくりの基本的な方向を示し、町のさらなる発展を目指すための総合的な指針となる第8次森町総合計画(平成18年度から平成27年度までの10年間)を策定し、町民と行政とが一体となった協働のまちづくりに取り組んでいます。

In Morimachi, we have established our Eighth Overall Strategic Plan (10-year plan from 2006 to 2015) that will show basic approaches for future town renewal and serve as a guide for further town expansion. Both the townspeople and the local government will act together to make this plan a reality.

まちの将来像

古きをいかして新しきを創る
みんながチカラの郷づくり



豊かな自然や貴重な歴史・文化、おいしい水や食べもの、町民の人情や気風など町の良いところをすべていかしながら、にぎわいにあふれ、活気を生み出すまちづくりに取り組みます。そして、住んでも良い、訪れても良い「ええら森町!(森町っていいよね!)」と思える町を目指します。

また、みんながみんなのために力を合わせ、協働することで、だれもが快適で安心して過ごせる郷づくり、人づくりを進めます。そして、これまで培われてきた森町らしさを失うことなく、古き良きものを復活させつつ新しいことを創造し、厳しい中でも自立した町を目指してチャレンジしていきます。



基本計画

「ええら森町!」への協奏曲

森町の特色や資源をいかした分野横断的な取り組みについて、目標や町民と行政の役割を整理したもの

- 第1楽章 ● 歴史・文化
先人の足跡を知り、未来を歩む
- 第2楽章 ● 太田川
清き流れの太田川と生きる
- 第3楽章 ● 第二東名
国土の大動脈をいかす
- 第4楽章 ● まちなか
にぎわい、ふれあい、みんなで再盛
- 第5楽章 ● 人づくり
未来のチカラをみんなで育てる

推進方策

「ええら森町!」の進め方

まちづくりを進めていく上で必要となる取り組み

1. 協働によるまちづくりの推進
～みんながみんなのために動くまち～
2. 健全な行財政運営の推進
～知恵と工夫で自立するまち～
3. 交流と広域的な連携の推進
～住む人も来た人も安らげるまち～



施策の基本方向

まちづくりを進めるうえで、次の5つの基本方向に沿って、それぞれの事業を展開していきます。



みんな なっかで めくといまち

保健・医療・福祉の充実

- 子育て支援の充実
- 児童福祉の推進
- ことごとと身体の健康づくりの推進
- 地域医療体制の充実
- 地域福祉社会の形成
- 高齢者福祉の推進
- 障がい者福祉の推進



学校、家庭、地域ぐるみで育むまち

教育の充実・文化の振興

- 学校教育の充実
- 地域における人づくりの推進
- 文化活動の振興
- スポーツの振興



住みたい、住み続けたいまち

生活環境の整備

- 計画的な土地利用の推進
- 道路・交通ネットワークの整備
- 上下水道の整備
- 情報通信基盤の整備
- 防災対策の充実
- 交通安全・防犯対策の充実



活気にみちた産業を育むまち

産業の振興

- 農林業の振興
- 商工業の振興
- 地域資源をいかした観光の振興
- 多様な観光形態の創出



たんと自然に たんと愛情をそそぐまち

自然環境の保全

- 美しい景観の保全と形成
- 森林の保全
- 河川の整備
- 廃棄物の適正処理とリサイクルの推進
- 環境保全活動の推進